

2023 年度 織田製菓専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 5 年度)

評価対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

織田製菓専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2023年（令和5年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告をもとに織田製菓専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会および飲食業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2024年5月1日（水）15：00～16：30

会場：織田学園第8校舎 グリーンホール

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	有識者委員
古谷 健	(株)スーパーキタムラ	パン製造責任者、ブーランジェ	卒業生、元教員
藤野 絵美	フリーランス	フランス語通訳	外部講師

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	3名

各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	
学校の教育理念に沿った①アドミッションポリシー ②カリキュラムポリシー ③ディプロマポリシーを設定または改訂できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- HP、入学案内にも教育理念・目標に基づいて学校の特色がきちんと表現されている。
- ディプロマポリシーについては、パティシエの初期キャリアで求められる知識や技術の習得までを明記するのが望ましい。
- 時代の流れに沿ったカリキュラムが定められている。
- 現役のパティシエ講師に習い、現場の空気を直に感じられる教育は素晴らしいと考える。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価（学校関係者評価委員会）を有効に活用できたか。	4	
カリキュラムや学習環境が正しく機能しているか検証・見直し、修正されたか。	4	
選択科目について、時代に合わせた内容に変化させ充実を図ったか。	3	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	

<ご意見・評価等>

- 引き続き感染症対策を十分に行った上で、実習授業を実施していただきたい。
- 実習を中心としたコースを新設したとあるが、今後も継続して授業の充実を図ってほしい。
- コロナ感染者は出たものの、拡大を抑えられた点を評価する。
- 申請書類や欠席遅刻の連絡などオンラインで完結できている点を評価する。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。	4	適切 3名
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	

実践的な職業教育（産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	
授業評価を実施し、その評価体制はあるか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 業界で活躍する講師を招くなど職業教育を実施しているのは評価できる。
- なお、「授業評価」は、学生が教員の授業に対してアンケートなどで実施し、授業の改善に役立てるものなので、改善の検討をお願いしたい。
- 教員のコンクール受賞は学生に対してより良い指導を行える実力証明に繋がり、教員と学生のモチベーション向上にも繋がると考える。
- 教員が賞を受賞したことで、学生も刺激を受けて相乗効果が生まれると考える。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 経済的困難を抱えている学生に対する相談・支援の体制をより充実させるように努めていただきたい。
- 就職は好調とのことで、今後も学生へのきめ細やかなサポートを期待したい。
- 就職率が高い点を評価する。
- 口頭での質問が難しい学生に対して、オンラインでも質問出来る環境があると尚良い。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	4	適切 3名
学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	3	
卒業生への支援体制はあるか。	4	
学生情報の教職員間での共有は効果的に行えたか。	4	
保護者との連携は適切だったか。	4	

<ご意見・評価等>

- 退学者がいなかったことを評価する。
- 今後も保護者との連絡、教員間の情報共有、専門機関との連携を図って、退学者を少しでも減らすように努めてもらいたい。
- 経済的なことやメンタルについて、学生がひとりで抱え込まないように気かけ、また相談しやすい環境を作れるのが少人数制の強みだと考える。それを強調していただきたい。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
卒業生・在校生・学校間のネットワーク構築への取り組みについて進捗・改善は見られたか。	4	適切 3名
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	

<ご意見・評価等>

- キャリアマップは就職活動のためのツールとして活用されているようなので、卒業生については学園の同窓会組織を作り、同窓会を通して卒業生と学校の連携を図る必要がある。
- また、教育施設・設備については学生の要望も把握しながら充実させていくよう努めてもらいたい。
- 防災備蓄品については学園として備蓄し、合わせて避難訓練も実施してもらいたい。
- 卒業生が所属する就職先との関係構築および維持について評価する。
- 卒業生も転職支援や就職のWEB利用が可能ということ、学校説明会やパンフレットでも案内すると安心出来ると感じた。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
OC 参加者の増加は達成できたか。	1	適切 3名
OC からの取り込み率は向上できたか。	1	
学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	3	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	2	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	3	

OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	4	

<ご意見・評価等>

○オープンキャンパス参加者が大幅に減った原因がどこにあったのか、問題点を教職員が共有し、対応していく必要がある。

○HP、SNS での情報発信を工夫して行い、オープンキャンパスも学生の協力を得て実施しているのは評価できる。

○高校訪問を定期的に行い、高校ガイダンス・模擬授業等への参加などを行い、高校教員、高校生への学園の認知を広げる努力をお願いしたい。

○オープンキャンパスで卒業生の話を聞ける機会があると良い。就職先や起業など生の声を聞くと、将来の夢や希望が描きやすくなると考える。

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	4	適切
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	3名

<ご意見・評価等>

○入学者を増やすことに教職員が一丸となって取り組むことが求められる。

○学校の強み、魅力を発信し、何よりもオープンキャンパス参加者を増やして学生数を確保することが望まれる。

○修学支援新制度の適用を考えると適宜募集定員の削減を検討していく必要がある。

○原材料が高騰する中でよく予算内に収めていると思うが、手に入りにくい材料等があった際に、実習への影響が懸念される。

○原材料高騰の影響を受けても教育の質を落とさない努力。大変だがこの姿勢を崩さないことが1番大切だと考える。

【9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	4	適切
自己評価の結果を公開しているか	4	3名

<ご意見・評価等>

- 基本情報から自己評価、学校関係者評価、財務情報まで HP に公開されていることは適切な運営が為されていると考える。
- できれば過去 3 年分はアーカイブとして公開できるよう検討していただきたい。
- 社会情勢に合わせて教職員間の意識の共有が大事だと考える。

【10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか。	4	適切 3名

<ご意見・評価等>

- アールブリュット展への参加など、従来から地域・自治体と連携したイベント等に参加しており、今後も積極的な参加を望みたい。
- また、「パティスリー・オダ」での製造販売実習も定着しており、これを評価する。
- JR とのコラボ販売企画の実施を評価する。
- 「パティスリー・オダ」を通じて、地域の人々に愛される学校になっていると感じる。

【11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	2	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 留学生担当の職員がいるのは評価できる。
- N2 レベル以上の留学生の受け入れが望ましい。
- 将来的には海外研修旅行の実施も検討してもらいたい。
- 少子化の中、留学生の受け入れをどう対応していくのかがポイントになると考える。
- 日本語学校へ訪問するとき、日本の食材を使ったお菓子の紹介や、留学生の母国の食材を使ったお菓子の紹介などの話を展開してはどうだろうか。

5. 総評

○退学者 0 の一方で、入学者が減少したことを深刻に受け止め、同分野の近隣他校との差別化を図り、学校の強みや卒業生の活躍などを積極的に情報発信して入学者の確保に努めていただきたい。

○退学者ゼロ、就職率 100%。この学校の長所を SNS でも発信することを検討していただきたい。

織田製菓専門学校
学校関係者評価委員会